

なかつがわ



平成29年 中津川市議会 12月定例会



左義長 (下野地区)

目次

市民と議会の対話集会	②
議案	⑦
予算決算委員会報告	⑨
常任委員会報告	⑪
特別委員会報告	⑫
一般質問	⑬
常任委員会先進都市行政視察報告	⑰
平成30年年始の一コマ／編集後記	⑳

トピックス

- **市民と議会の対話集会**
多数の方にご参加頂き、ありがとうございました。(P2～P6 に掲載)
- **定例会議案**
中津川市障がい児総合支援施設を設置
損害賠償額の決定
市民病院に関する損害賠償金
指定管理者の指定
12 施設を7つの団体に指定

対話集会の中で市民の皆様からいただいた主なご意見

中心市街地

- 質問 ・旧ユニー跡地に3～4年後には複合施設を作ると話を聞いております。最近一向に話がないので、その後どうなりましたか。議会でも話題になっていないですか。
- 回答 ・議会が何もしていないかと言えば、私を含め各議員から一般質問において何度か早期解決を求めています。関心はもちろん持っています。
- 現状ですが、市の答弁の中で今年度中に複合施設を作るために何を採用するか市のプランが出ます。その中には、青邨記念館など文化施設や子育てできる施設等を複合的に作ると聞いています。
- もう1点は杭が44本埋まっており、撤去するだけで何億円という無駄な費用が発生するため、行政の施設を作って無駄な費用が発生しないようにしてほしい。動きが遅いと提言しています。

ゴミ処理問題

- 質問 ・ゴミの量は他市と比較してどうですか。
- 回答 ・生活ドットコムから当市のごみの総排出量は全国814市のうち490位です。当市の1人1日の家庭ごみ排出量は803グラム、これは全国814市のうち760位であり決して良い方ではないと思います。
- ・27年度の市民一人1日当たりのごみ排出量は、1,037グラムで、42市町村中40位で他市と比べ多い状況です。27年度のごみ処理費は10億8千万円で税金から費用が出ています。
- ごみ袋の値段ですが、中津川市は大で45円、多治見市は大で50円、瑞浪市は大で37円、恵那市は大で32.4円ですが、小では恵那市21円、中津川市は18円という事で、東濃は均衡がとれている状況です。

福祉バス

- 要望 ・高齢化が著しく、買い物難民、病院難民が増えています。坂本には南北の道路がなく、独居老人が500世帯もあり、坂本地区に福祉バスがほしい。行政と一緒に中津川全体で考えてほしい。
- 回答 ・民間の路線バスがあり、営業に圧迫をかけることも考えられます。市は、買い物難民の数は把握できていないと思います。地域の方が共同でタクシー等を利用することを考えています。地域で運送ができる組織を考えていくことも必要でないかと思います。民間の事業者で、販売して回る車もできると良いと思います。

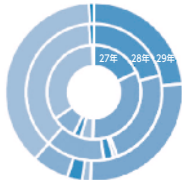
集会を開催しました

本年も多くのご参加を頂き、ありがとうございました。
 多くのご質問・ご意見・ご要望を議会として大切に受け止め、
 今後の活動に生かして参ります。



開催日	会場	参加者数			アンケート回収枚数
		男	女	計	
11月6日(月)	健康福祉会館	49	1	50	45
	落合公民館	24	0	24	23
	坂本公民館	34	4	38	33
11月7日(火)	福岡公民館	19	4	23	22
	蛭川公民館	38	2	40	39
	付知公民館	22	1	23	21
11月8日(水)	阿木公民館	27	1	28	27
	苗木公民館	45	2	47	38
	坂下公民館	24	7	31	26
合計		282	22	304	274

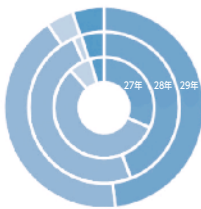
開催を知った情報先について



■議会だより ■案内チラシ ■ホームページ
 ■携帯メール ■市議会議員 ■その他 ■無回答

昨年に引き続き、議員
 が出身地区の会場を担当することや、議会だ
 より等からの情報が増加しました。

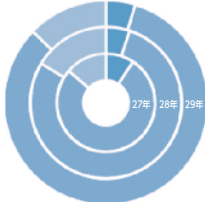
内容の理解度について



■分かり易い ■どちらともいえない ■分り難い ■無回答

約半数の方から分かりや
 すいとの評価を頂きました。更にわかりやすい言
 葉使いや報告の仕方を改
 善していきます。

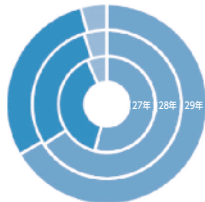
所要時間について



■長過ぎた ■丁度よかった ■短過ぎた

昨年同様の評価を頂き
 ました。限られた時間
 で中身の濃い集会を目
 指していきます。

議会の取組みについて



■評価する ■どちらでもない ■評価しない

昨年同様、評価しない
 が減っていません。ア
 ンケート内容を分析
 し、改善につなげてい
 きます。

公共施設等運用マスタープラン

- 質問 ・ 付知のふれあいセンターについて、区長会を通じて地域移譲や廃止等の判断を行う必要があると聞いている。地域で維持管理まで行うことを考えなければいけない。何のための地方自治なのか、何のための合併なのか伺います。
- 回答 ・ 付知のふれあいセンターは、譲渡要望がなければすぐ壊すということは聞いていません。
- ・ 加子母では、各施設についてまちづくり協議会で協議し、引き受けられるものは地域移譲、引き受けられないものは民間移譲又は廃止と回答し、現在のマスタープランになっていると考えています。大事なことは、なぜ合併したかであります。普通交付税も減り地域の運営が出来なくなるので、公共施設を減らして、財政負担を軽減しようと合併を選択したと思います。地域のみんなで地域の施設をどうしていくか、考えていくことが大切だと思います。
- ・ 坂下は、まちづくり協議会などの地域の代表でつくる運営協議会で協議し、きりら坂下の指定管理を行っています。
- ・ 地域は、福祉の増進が大切であり、行政が行う事、民間が行う事、それぞれの役割のなかで考えていく必要があります。
- ・ 旧市内では大きなものは市に一つという考えで、その地域だけの優先の施設はありません。昭和の合併が50年経って、ようやくそれが当たり前となっています。

阿木高校

- 質問 ・ 阿木高校が70周年を迎えます。市立の定時制としては素晴らしく、今度三河地区でもまねて創るそうです。しかし現状は定員割れをされていて廃校の懸念もあり大変心配しています。阿木高校は人としてリメイクするという特色ある学校だと思います。残すためにこれからどうしていけばいいのか、議員としての対応をお聞きします。
- 回答 ・ 特色ある学校として認識しています。人間教育に重きを置くという観点から大事だと思います。市立だからこそできることもあると思います。後押しをして参ります。

苗木公民館の指定管理について

- 質問 ・ 苗木まちづくり推進協議会が指定管理を受けることになっています。今までの公民館活動では不十分です。指定管理を受けて、まちづくりの一環として公民館活動を充実・発展させたい。公民館は社会教育の一環。ひとづくり・地域づくり・安全防災の3つが社会教育の柱になっています。これらのことをすすめるにはマンパワーが必要で、必要な人件費を見てほしいです。
- 回答 ・ まちづくり協議会と議員も一緒になって、それぞれの話を聞きながらすすめていきたいです。一度話し合う場をセットしていただきたいです。それを行政に伝えます。（苗木議員団担当予定）

集会を開催しました

対話集会の中で市民の皆様からいただいた主なご意見

太陽光パネル

- 質問 ・ 太陽光パネルの件は、問題解決になっていない。1000㎡以下の小規模な所は連絡先が不明。道路に崩れた泥や草が生えている等々、市の方で対応してくれるのかどうか伺います。
- 回答 ・ 中部電力にも問い合わせましたが、小規模施設については個人情報等を盾に教えてくれません。行政の方に対応するようにお願いしています。引き続き要望していきます。

リニア関連

- 質問 ・ リニア関連事業である中部電力の送電線及び鉄塔の敷設について、生活している頭上を環境破壊し、有害と言われている電磁波を発生させる施設を設置することに対して、事業推進に向けた中部電力のやり方と、その事業に対する行政の対応に不信感と不満を持っている。中津川市の考え方を伺います。
- 回答 ・ 計画について、ルートを示し調査に入るとの説明は昨年あったが、その後のような状況で市民説明が進められているかの報告は受けていません。
リニア路線、岐阜県駅、車両整備基地は決まっており、高圧の電力が必要とされます。どこからどこを通して電力を送るかは、中部電力・ＪＲ東海及び利害関係者での協議で決定されるものです。
進め方に不信感・不満をお持ちなので、中部電力やＪＲ東海に対話集会で話があったことを市の担当部局に伝えます。

病院関連

- 要望 ・ 議会だよりに、坂下病院は医師確保が困難で内科医がいなくなれば診療所でも存続が難しい、医師確保を要望したと書いてありました。退院を余儀なくされ、別の老人施設に行き、坂下病院のベッドが空いたので戻ったという方もいます。全部の科がなくてもよいので残していただきたいです。
- 回答 ・ 残していきたいと考えますが、それが許されない財政難状況であり、市全体で考えていくことが大事です。現状を皆さんによくわかるように説明をする必要もあります。医師の確保については、継続的に大学の医局にお願いするしかありません。
・ 議会としても、医療体制の整備と医師確保の要望を県議長会に提出しました。県議長会では２月頃に検討し、全国議長会に提出していく予定です。今後も強く要望していきます。

12月定例会は、本会議初日に契約議案1件と平成29年度一般会計補正予算(第7号)を原案通り可決し、平成29年度一般会計補正予算(第6号)など21議案を所管の委員会に付託しました。
11日の本会議では人事院勧告に基づき平成29年度一般会計補正予算(第8号)など9議案が追加提案され、所管の委員会に付託しました。
22日の最終日は、付託した30議案を原案どおり可決しました。

中津川市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部改正

(賛成多数)

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の規定に基づく情報連携が平成29年11月13日から本格運用されたため、改正するものです。

中津川市各種委員等給与条例の一部改正

(全会一致)

農地利用最適化交付金が交付されることに伴い、農業委員及び農地利用最適化推進委員に対する報酬の上乗せ支給を可能とするため、改正するものです。

中津川市馬籠文化交流施設の設置等に関する条例及び中津川市文化スポーツ施設等使用料等徴収条例の一部改正

(全会一致)

馬籠ふるさと学校の改修整備に伴い、使用料に相撲場、冷暖房料金、宿泊を追加すること、及び馬籠自然休養村センターを廃止するため、改正するものです。

中津川市障がい児総合支援施設の設置等に関する条例の制定

(全会一致)

中・重度障がい児の放課後の居場所を確保し、障がい者の育つ、学ぶ、働く、生きる環境をつくる施設を設置するため、制定するものです。

工事請負契約の締結

(全会一致)

工事名 新衛生センター建設工事
契約の方法

総合評価一般競争入札

契約金額

19億2千240万円

契約の相手方

名古屋市中村区

名駅南一丁目24・30

日立造船株式会社 中部支社



新衛生センター完成イメージ

中津川市職員の給与に関する条例及び中津川市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正

(全会一致)

人事院勧告に基づき、平成29年度における民間給与との格差を調整するため、及び時間外勤務手当の算定方法を労働基準法に準拠するため、改正するものです。

損害賠償の額の決定

(全会一致)

平成22年11月、市民病院皮膚科を受診され、病理医は悪性でないと診断したこと、治療を終了したものの、平成27年3月、愛知県の高度医療機関にて腫瘍の切除術を受けられたが、平成28年11月に死亡された。平成22年の診断により治療が遅れ、最終的に亡くなったことに對し病院側の過失を認め、損害賠償金を支払うものです。

・損害賠償額 7千25万3千677円

損害賠償の額の決定

(全会一致)

平成26年10月、市民病院耳鼻いんこう科を受診の際、アレルギー性鼻咽頭炎と診断され、その後診察を続けていた。

平成27年7月に体重減少等の訴えがあり、内視鏡検査等の結果、頸部食道がんと診断された。頸部食道がんの診断時期に遅れを生じたことに對し病院側の過失を認め、損害賠償金を支払うものです。

・損害賠償額 308万円

市民と議会の対話集会を開催しました

「市民との対話集会」アンケート 議会（対話集会）への要望

議員活動の報告

市議の方々から活動している具体的な内容を聞きたかった。
議会活動の報告をもう少し詳しく現状と今後の課題についての話が欲しかった。

テーマの設定

対話の内容を少し絞って討論できればと思います。
あらかじめ討論のテーマがわかれば、集会に参加するにあたって、事前に勉強できるかと思います。

政策提言

市政に対する提言をしていただきたい。
対話集会から生まれる結果・実利をあげられるようにして欲しい。

報告の方法

スクール式な席でなく口の字にて顔が見えるような工夫があればよいと思われました。
パワーポイント(PP)にて可視化が有効的。
グループ討議にした方が多くの意見が聞くことができる。

参加者を増やす

子育て世代の集まる場所、小中保の保護者会会場等への出張対話集会を望みます。
休日に設定して多くの住民に参加してもらう。

「市民との対話集会」アンケート意見（抜粋）

中津会場

各種調査研究、先進地視察をされているようですが、それが実際どれだけ現実化されているのか、生かされているのか、行政側の案を調査するのではなく、議会として調査研究した成果を案として、行政側に考えさせる事が必要と思います。

落合会場

現在の中津川市は将来に向けて不安が多い、恵那市に負けまいようよろしくお願いします。
市に対してではなく、議員に対して聞くと言う事はなかなか聞きづらい。
昨年と違い有意義な集会であったと思います。
今回初めての参加で質疑ができなかったので次回よりしたいと思います。

福岡会場

他の意見も聞きたい。
今後も対話集会は必要と思います、続けてください。
市議不信になりました。対話にならない。
この数年参加しているが一部の人の意見ばかり（議員への苦情）で市民との対話集会と言う内容ではない。建設的な意見が聞ける集会になれば良い。今後続けるならば内容を考えるべきである。

蛭川会場

初めてこのような場に出させていただき、いろいろな問題について知ることができ有意義でした。
また機会があれば出席したい。特に交通の確保の問題に他人事ではなく、切実な問題と思いました。

付知会場

活動報告は細く読み上げる必要がない。議員さんも真面目に答えていた。
暖簾に腕押し。

阿木会場

初めて参加しました。分かりやすい話でしたが何を質問していいかもわからずテーマなどあらかじめ設定してもらえるとよいと思いました。

苗木会場

活動報告に苗木地区に対する報告が欲しかった。
市政の進行内容がわかりにくい。どこまで進んでいるのか報告が欲しかった。

坂下会場

住民と一緒に頑張ってほしい。
建設的な意見がもっと出るとよかった。
議員もたくさん来ているので、グループ討議にした方が多くの意見が聞くことができる。

対話集会にご参加いただき、ありがとうございました。
アンケートにご記入いただいたご意見につきましては、今後の議会活動において検討してまいります。

※市民と議会の対話集会でのご意見など詳細については、中津川市議会公式ホームページをご覧ください。

予算決算委員会報告（補正予算）

(11月29日・12月18日)

(賛成多数)

平成29年度 12月補正予算の概要

- ① 国・県補助金等を活用する事業
- ② 寄附金を財源とする事業
- ③ 緊急対応が必要な事業
- ④ 当初予算編成後の人事異動及び人事院勧告等による人件費の補正
- ⑤ その他



■補正を行う会計

一般会計	596,778千円
特別会計	
・ 国民健康保険事業会計（事業勘定）	△488千円
・ 国民健康保険事業会計（直営診療施設勘定）	△316千円
・ 下水道事業会計	32千円
・ 農業集落排水事業会計	5,769千円
・ 特定環境保全公共下水道事業会計	10,700千円
・ 介護保険事業会計	2,164千円
・ 後期高齢者医療事業会計	23,005千円
企業会計	
・ 水道事業会計	△3,141千円
・ 病院事業会計	323,948千円
合 計	958,451千円

平成29年度中津川市一般会計補正予算（第6号）に関する附帯決議

(賛成多数)

中津川市は、平成29年度中津川市一般会計補正予算（第6号）の款4衛生費、項4病院費の執行にあたっては、新公立病院改革プランに沿って坂下病院の経営改善に努めるものとする。

平成29年12月18日

予算決算委員会

平成29年度中津川市一般会計補正予算（第6号）に関する附帯決議の議決結果

議案	会派 氏名	中津川自民クラブ									市民クラブ		新政		公明		ネ	無	共	議決結果		
		鷹見 憲三	大堀 寿延	勝 彰	岡崎 隆彦	吉村 浩平	柘植 貴敏	島崎 保人	水野 賢一	森 益基	吉村 孝志	吉村 久資	櫛松 直子	牛田 敬一	鈴木 雅彦	三浦 八郎	鈴木 清貴	田口 文数	佐藤 光司		粥川 茂和	木下 律子
平成29年度中津川市 一般会計補正予算 (第6号)に関する 附帯決議		賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	委員長	否	否	可決

※ 新政：新公会、公明：市議会公明党、ネ：市民ネット21、無：無会派、共：日本共産党

指定管理者の指定

(全会一致)

- 次の施設の管理を指定管理者に行わせるため、指定するものです。
- ・ 指定期間 平成30年 4 月 1 日～平成33年 3 月31日
 - ただし、馬籠ふるさと学校、馬籠総合グラウンド、馬籠ふれあい広場
平成30年 4 月 1 日～平成34年 3 月31日
 - 中津川市障がい児総合支援施設
平成30年 2 月 1 日～平成33年 3 月31日

施 設 名	指 定 先
中津川市苗木公民館	苗木地域まちづくり推進協議会
中津川市付知公民館	付知町まちづくり協議会
中津川市アートピア付知交芸プラザ	
馬籠ふるさと学校	株式会社 クアリゾート湯舟沢
馬籠総合グラウンド	
馬籠ふれあい広場	
中津川市民プール	株式会社 コパン
苗木公園	三菱電機ライフサービス株式会社 中津川支店
中津川市トレーニングセンター	
中津川市障がい児総合支援施設	特定非営利活動法人 かがやきキッズクラブ
中津川駅前市営駐車場	恵北ビル管理株式会社
中津川駅前広場市営駐車場	



アートピア付知交芸プラザ



馬籠ふるさと学校



トレーニングセンター

賛否の分かれた議案の議決結果

議案	会派	中津川自民クラブ										市民クラブ			新政		公明		ネ	無	共	議決結果
	氏名	鷹見 憲三	大堀 寿延	勝 彰	岡崎 隆彦	吉村 浩平	柘植 貴敏	島崎 保人	水野 賢一	森 益基	吉村 孝志	吉村 久資	櫛松 直子	牛田 敬一	鈴木 雅彦	三浦 八郎	鈴木 清貴	田口 文数	佐藤 光司	粥川 茂和	木下 律子	
中津川市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部改正		賛	議長	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	可決
平成 29 年度中津川市一般会計補正予算(第6号)		賛	議長	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	可決
平成 29 年度中津川市国民健康保険事業会計補正予算(第1号)		賛	議長	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	可決
平成 29 年度中津川市介護保険事業会計補正予算(第2号)		賛	議長	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	可決
平成 29 年度中津川市後期高齢者医療事業会計補正予算(第1号)		賛	議長	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	可決

※ 新政：新政会、公明：市議会公明党、ネ：市民ネット21、無：無会派、共：日本共産党

常任委員会報告

◆総務企画委員会

10月24日
〔所管事務調査報告〕（財務部）

○財政状況と今後の見通しについて

当市の厳しい財政状況について調査しました。

現状・課題

一般財源の大半である普通交付税が大きく減少する中、一般財源に頼る歳出需要や大型事業費が拡大し、その事業の財源を財政調整基金や市債に依存することになり、今後、市財政への影響が懸念されます。このままの状況で進めば、財政調整基金が枯渇し、財政の硬直化が進んでしまいます。

今後の対応

大型事業については、全体事業費自体よりも財源である市債発行や一般財源を調節することが必要です。

委員会のまとめ

予算を一度広げると、元に戻すまでに長い期間と負担が生じます。財務部が打立てた対策を確実に実行することが、健全な財政運営に必要不可欠です。

◆文教民生委員会

11月7日
〔所管事務調査報告〕（生活環境部）

○防災対策について

災害に強いまちづくりについて調査しました。

現状・課題

災害に強いまちづくり計画に基づき、各種防災対策が進められていますが、避難所の設備不足のほか、放送が聞こえないなど災害情報の伝達などが課題です。

今後の対応

- ・電話サービス、テレビのデータ放送など、防災情報伝達手段を多様化します。
- ・新設する防災備蓄倉庫は、緊急避難所付近に設置します。
- ・避難行動要支援者への支援は、地域コミュニティに依頼していきます。
- ・市の業務継続計画（BCP）は、各部署における被災時の優先執行業務を定めており、今後必要な機材やシステムの導入を計画的に進めます。

委員会のまとめ

多様な災害に迅速かつ的確にかつ対応するため、防災計画を一元化する必要があります。

◆産業建設委員会

10月31日
〔所管事務調査報告〕（農林部）

○有害鳥獣対策の現状と課題について

増加する鳥獣被害の状況と対策を調査しました。

現状・課題

- ・イノシシ、ニホンジカ、ニホンザル等による農作物及び生活上の被害が広がっています。
- ・特に、ニホンザルは狩猟獣ではないため、年々生息数が増加傾向にあり、出没地域も広がっており、人身被害を負う事例もあります。
- ・猟友会会員が高齢化しています。

今後の対応

- ・国・県の補助金を活用し、集落で侵入防護策等を設置し、農地等を管理していきます。
- ・適正な個体管理と生息環境管理を実施するとともに、ジビエ振興対策を図ります。

委員会のまとめ

- ・各種取組みの効果があるかを見込んだ計画の策定と予算化を要望していきます。
- ・ジビエ振興対策の推進と観光行政との連携を図るよう要望していきます。

平成 29 年度 12 月補正予算の主な内容

① 国・県補助金等を活用する事業

■社会保障・税番号制度法改正に伴う改修事業
・・・3,832 千円

社会保障・税番号制度の法改正に伴い、システム改修を行います。

- ・児童手当事業 224 千円
- ・児童扶養手当事業 132 千円
- ・障害者総合支援給付事業 447 千円
- ・公立保育所事業 224 千円 等

■法人保育所事業 ・・・11,728 千円

現在、法人が実施しているこばと保育園の大規模改修工事（H29 増築、H30 改修）について H30 に予定していた改修工事を前倒し、早期に子どもの安全性を確保したい旨の申し出がありました。また、この前倒し分に対する県の補助金も10月に交付決定されたため、追加の補助を行います。

③ 緊急対応が必要な事業

■坂下病院繰出金事業 ・・・390,000 千円

経営が悪化した国民健康保険坂下病院に対し、資金不足を解消するため、一般会計から臨時的に補助を行います。

■地域医療対策事業 ・・・2,400 千円

将来、中津川市内の公立病院に勤務する医師を確保することを目的として東濃 5 市で連携して実施している奨学金貸付事業に、今年度 2 名の応募があったため、奨学金貸付に係る負担金を増額し、医師確保を図ります。

■生活安全対策事業 ・・・1,500 千円

市民の安全で安心な暮らしを確保し、良好で快適な住生活環境の形成及び保全並びに土地の利活用を図るため、H29 年度から新規事業としてスタートした空家解体支援事業補助金について、当初見込の 5 件分を上回る申請があり、さらに 5 件分を増額します。

■ごみ収集事業 ・・・9,747 千円

指定ごみ収集袋の需要数が当初の予測より多く、3 月末までの在庫数に不足が生じ、市民への供給が滞る恐れがあるため、追加で製作します。

可燃ごみ袋 小：4 万枚

不燃ごみ袋

大：18 万枚／中：18 万枚／小：11 万枚

■中津川公園管理運営事業 ・・・23,544 千円

中津川公園競技場の第 3 種公認（5 年間）期限が H30 年 5 月までとなっており、9 月に継続検定の事前調査を公益財団法人日本陸上競技連盟に行ってもらったところ、要補修箇所が多数見つかったため、公認継続に必要な補修工事を実施します。

② 寄附金を財源とする事業

寄附額計 ・・・6,250 千円

■ワイ・ケー・ピー工業株式会社様

・国際交流事業に

■瀬戸市（付知町出身）小南 誠様

・付知中学校の部活動用品購入に

・市内公立保育園、幼稚園、小中学校の図書充実に

■イハラサイエンス株式会社様

・付知地区、福岡地区の未来を担う児童生徒の教育充実と地域福祉の向上に

■匿名（1 名）

・養護老人ホーム清和寮への A E D 設置に

④ 当初予算編成後の人事異動及び人事院勧告等による人件費の補正

■職員給与費（全会計分） ・・・246,661 千円

・人事院勧告に基づき、給料表の改正（平均 0.2% 引き上げ）、勤勉手当引き上げ（0.1 月分）等を行います。

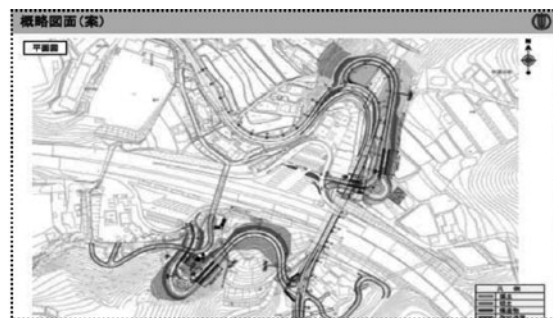
■人件費の補正に伴う他会計繰出金

・・・△8,947 千円

■神坂 P A スマートインターチェンジ設置事業

・・・12,100 千円

中日本高速道路株式会社と市とで施工区域を分担して実施する事業ですが、現地測量等においては地元調整等を当市が一括して行った方が効率的に進めることができるため、中日本高速道路株式会社分の測量設計業務を受託して市が発注します。



■消防団員活動事業 ・・・200 千円

永年、地域防災の重責を担った消防団員に対し、市非常勤消防団員退職報償金支給条例に基づき、退職報償金を支給します。

■議会運営事業 ・・・1,626 千円

議員及び議会事務局にタブレット端末を貸与し、ペーパーレス議会システムを活用して議会運営の効率化、迅速化等を図ります。

一般質問 ここが知りたい！

一般質問通告表のほか質問要旨も掲載しています

各議員の一般質問の要旨を
中津川市議会公式ホームページからご覧いただけます。

中津川市議会 Nakatsugawa City Council



映像配信

会議録閲覧

市議会だより

市議会
カレンダー

議会への
直行便

■ほっと ニュース

□ 提出議案(17/12/14)

□ 議会改革特別委員会協議会及び議会改革特別委員会を開催します(17/12/12)

①「一般質問」を
クリックします。

■本会議・委員会

会議の日程
提出議案
一般質問

■審議結果

審議結果及び議院の
賛否

■議会広報

議会中継
会議録
市議会だより

②「一般質問通告
表」をクリック
します。

■一般質問

一般質問通告表はこちら

(平成28年第5回定例会(9月)分より、一般質問の要旨も掲載しています。)

一般質問通告表

答

当市も「がんばる地域サポート事業」以外に「地域一括交付金」や「地域住民が取り組む里山林整備事業」などたつの市と類似の事業を行っています。

平成28年度からは市民協働の取り組みの拡充として、「地域づくり活動支援事業」を開始しました。今後もこのような取り組みを継続し、地域の特性を踏まえた地域の自主自立化を目指し、市民協働推進事業を充実させていきたいと考えています。

(定住推進部長)

問

厳しくなる財務状況の中で、基本である住民の福祉にどう応えていくのか大きな問題です。その解決策の一つに住民自治や協働として、住民参加が促進されています。総務企画委員会では兵庫県たつの市「自立のまちづくり」について行政視察しました。当市で行われているがんばる地域サポート事業と共通した事業ですが、当市として、もっと市民協働の事業内容、事業費等について充実することは考えられていますか。

住民の福祉とまちづくりについて

三浦 八郎



特別委員会報告

リニア中央新幹線対策特別委員会

11月10日

リニア中央新幹線等に関する最近の動向について

【内容】

- リニア岐阜駅周辺土地区画整理事業
- ・平成29年10月17日岐阜県知事より事業認可を受け、市で初めてとなる土地区画整理事業で、リニア岐阜駅開業に向け、県の東の玄関口としてふさわしいまちづくりを進めていく事業計画
- ・事業施行期間は、平成41年3月31日まで。南木曾町議会とリニア特別委員会合同会議を開催することの確認
- 先進地行政視察を実施することの確認
- ・長野県飯山市
- ・福井県敦賀市

【委員会のまとめ】

土地区画整理事業の検証を行うとともに、リニア関連事業については市民への分かりやすい情報提供を要望していきます。

先進地行政視察

11月20・21日

◆長野県飯山市

「新幹線開業に伴う」

駅周辺整備関連について」

【目的】

新幹線開業に伴う長野県飯山駅周辺のまちづくりを参考とするため視察しました。

【概要】

- ・広域の交通結節点を意識した幹線道路、駅前広場等の公共施設整備を実施
- ・にぎわい創出のための「駅舎合築都市施設整備事業」は、行政と市民が協働して企画し、観光案内所、交流ホール等を新幹線駅舎に合築したことが特徴的

【委員会のまとめ】

- ・広域の交通結節点を意識した駅周辺整備は、当市にとって重要な考え方です。
- ・にぎわい創出の施設は、知恵を絞り工夫を凝らした取り組みが必要です。



◆福井県敦賀市

「北陸新幹線

新北陸トンネル工事現場について」

【目的】

当市山口・瀬戸地区で行われるトンネル工事を想定して北陸新幹線新北陸トンネル工事現場を視察しました。

【概要】

- ・実際に工事現場の最先端を見学し、安全な施工管理について説明を受けました。
- ・残土処理は、敦賀港の拡張浚せつ工事のための埋め立てをしていました。
- ・運搬上の交通安全対策等については、地元との協議を行的確に対応していました。

【委員会のまとめ】

- ・当市は、山口地内で中央アルプストンネル工事が始まります。
- ・残土処理に係る地元への配慮やその安全性等について注視していくことが重要です。



雇用を促進する施策について

粥川 茂和

問

雇用促進は人口対策の側面もあり、将来も当市に住み続け、市内企業に就職してくれる若者の育成には学校教育が欠かせませんが、どのような考え方で取り組んでいますか。

答

地元企業を知る活動として、平成28年度から「すぐ技中津川プロジェクト」を行っております。地元企業の協力を得て、小学生が地元の企業の技術力を見学し、すばらしさ、魅力を体験する事業です。

市長部局と教育委員会が連携して、当市の子育てに当たりたいという考えをもっています。

(教育長)



当市の医療・福祉政策について

森 益基

問

過日開催の市公立病院地域協議会において今年度の上半期の経営改善プランの取組状況や医師確保、経営状況などが報告されました。その中で「坂下病院は内科医を確保しない限り診療所すら維持できない状況である」旨の課題が挙げられました。

医師確保についてのこれまでの具体的な取組みと結果、今後の対策と見通しについて伺います。

答

大学医局訪問を中心に医師紹介会社への依頼、研修医確保、ホームページでの医師募集、県への医師派遣要請、地元出身医師への声掛けなどを行っています。医局訪問では3人の医師の増員、医師紹介会社では市民病院に呼吸器内科医師1人と非常勤医師6人、坂下病院に非常勤医師3人を確保しました。研修医確保では4人の赴任予定があり、ホームページ募集では非常勤医師1人の確保に繋がっております。

(病院事業部長)



平成30年度当初予算について

吉村 久資

問

市総合計画の前期事業実施計画の最終年度となる平成30年度の当初予算における編成方針並びに主要施策について伺います。

答

①前期事業実施計画の主要施策の総仕上げを行う。

②重点的に推進する施策に若者の地元回帰・移住定住促進を位置づけ優先的かつ横断的に取り組む。

③強固で持続可能な行財政基盤の構築を念頭に施策・事業の重点化を進める。

この三点を基本に予算編成を行うよう指示しました。

(市長)

主要施策は、①「未来への架け橋 花開き始める中期へ」前期事業実施計画の総仕上げを掲げ、中期事業実施計画に向けて、積み残しの無いよう着実に事業を実施し、前期で出た芽が中期に花開くように取り組めます。

②「来たれ、ふるさとの担い手」若者の地元回帰・移住定住促進を掲げ、都市圏に在住する市内出身大学生など若者の地元回帰や地元定着に取り組めます。

(政策推進部長)



子どもの食育・食べ物の危険について

田口 文数

問

食育とは、食に対する心構えや栄養学、伝統的な食文化についての総合的な教育です。

①若者が好む清涼飲料に含まれるカフェインを摂り過ぎると危険性があるなどの指導を学校でされていますか。

②子どもが肥満や生活習慣病にかかる要因として、孤食(家族が不在でひとりだけで食べる)が問題とされています。学校教育での取り組みを伺います。

答

①カフェインに特化した指導はしていませんが、一つの食べ物を偏って摂取することによる悪影響については指導しています。

今後、子どもたちへの指導とともに、保護者の方にも「便り」などを通じて注意喚起していきたいと考えます。

②一家団らん、家族とのふれあいは、子どもの人格形成上とても大切な要素と考え、啓発に努めています。今後も積極的に広報に努めたいと考えています。



《教育長》

市総合計画の前期事業実施計画について

水野 賢一

問

平成30年度は、総合計画12年間のうち、前期4年間の仕上げの年度で、中期・後期計画へと繋がる基礎部分です。

事業の検証をしつかり行い、改善や見直しが必要な場合は早めの軌道修正が必要であり、そのことが当市のまちづくりの指針へと繋がると考えます。

①前期事業実施計画の過去3年間の総合的評価を伺います。
②今後、計画の見直しの必要性が生じた場合の手当はどうされますか。

答

①国・県との関係づくりに努め、青木斧戸線道路整備の着工、神坂PAスマートIC新規事業化の決定、新衛生センター建設着工と大きく事業を進展させました。

リニア岐阜県駅周辺土地区画整理や東濃東部都市間連絡道路整備の事業化にもこぎつけました。外部評価委員会の立ち上げやクアリゾート湯舟沢の民間移譲を行いました。

(市長)

②前期事業実施計画の検証結果を中期事業実施計画に反映させます。



《政策推進部長》

中津川市総合計画の進捗状況について

牛田 敬一

問

当市の製造業を取り巻く環境は、東濃地域において大手企業進出が発表されるなど労働力不足に拍車がかかる状況です。環境が変化する中で、時代に即した対応をしていかなければなりません。

前期事業計画の約6割が経過した時点での進捗状況や12年後の将来像等を踏まえ、安定した雇用の確保として、今までの取り組みと結果を伺います。

答

社会経済情勢が時代の潮流と共にどのような変化していくかを早く察知し、将来の戦略に必要な高い要素を取り入れた効果的な計画づくりを進めていく必要があると考えます。人材不足を補う観点では、女性の活躍推進やダイバーシティ経営、働き方改革といった点があります。

また、企業活力向上上面では、IOTやAI、EVやPHVといった次世代社会の産業構造に大きな変革をもたらす分野が重要な要素と考えています。



《商工観光部長》

総務企画委員会先進都市行政視察報告

◆兵庫県たつの市

「自立のまちづくり事業について」

10月10日

【目的】

市民の自主的な公益活動に対し、市が支援を行い、市民自らの行動で自立のまちづくりを推進している取組みについて視察しました。

【概要】

市民に公的援助ができる7つの支援活動名を掲げ、作業及び援助内容を具体的に示し、積極的に市民が公的活動に取り組めるよう条件を整備し、市民が自主的に行う公益活動を推進している事業です。

平成29年度予算額2千673万円が計上されています。

【委員会のまとめ】

市民が参加する行政事業のスリム化と市民の行政への参加が有意義であり、当市においても、市民・行政の役割等を明確にし、事業を拡大することを提言していきます。

◆大阪府泉大津市

「泉大津市総合計画条例について」

10月11日

【目的】

総合計画の策定根拠を条例により明確化し、直接的な市民参画により策定された取組みについて視察しました。

【概要】

平成26年の地方自治法改正により、法による位置付けが無くなった総合計画について、市条例により位置付けがされています。

計画策定過程で、中学生、大学生、一般市民の参加を積極的に取り入れ、幅広い市民の意見を反映する手法によって総合計画が策定されています。

【委員会のまとめ】

当市の次期総合計画の改正時点である平成38年には、市の最上位の計画であることが条例により明確化され、権限の裏付けのある総合計画により施策が推進されるよう要望していきます。

◆滋賀県甲賀市

「光ファイバー網を活用した情報サービスについて」

10月12日

【目的】

光ファイバー網を活用した情報サービスの取組みについて視察しました。

【概要】

全世帯を対象に光ファイバーを敷設、音声放送及び光テレビ等の通信設備により全市民に情報が伝えられています。

音声放送は無料放送（市及び公的機関からの緊急放送と地区からのページング放送）と有料放送（第三セクターで運営される63の事業・アプリ）が提供されています。

音声放送受信設備整備と、63の有料サービスで1億2千万円が必要です。

【委員会のまとめ】

当市も経費1億円であり、早急に費用対効果の検証が必要と思われます。

観光行政について

佐藤 光司

問

海外からの旅行者は馬籠・妻籠へ行くのに迷うことなくバスを利用しています。馬籠・妻籠の情報が国際的に紹介されているものと思います。当市の良さを一層発信することが求められています。

①女夫岩や星ヶ見公園などへの案内表示や案内看板はどうですか。

②カーナビゲーションへの対応はどうですか。

答

①女夫岩と苗木城跡を関連づけた表示はできていません。苗木城跡への案内看板は、外国人観光客の市内での周遊性を高めるために設置しました。案内パンフレットには、滞在時間の増につなげる周遊ルート構築の中で考えていきます。

②ナビゲーションソフト製作会社から掲載について照会がある都度、情報提供をしています。さらに企業と連携して情報の付与を促進していきます。

(商工観光部長)



中心市街地活性化について

鷹見 憲三

問

10年後に開業するリニアのまちにふさわしい中心市街地の整備が望まれます。

第二期中心市街地活性化計画においては、新町市有地の活用は重要な課題と考えます。新町市有地をどのように活用しようと考えていますか。

答

リニアの時代を見据え、市民の皆さんが日常的に利用できる機能と来街者へのおもてなしや、まちなか回遊につながる複合施設を検討しています。

(商工観光部長)



タクシー利用でドアツードアの足確保を

木下 律子

問

リニアで東京へ1時間で行くより近くのスーパーに行きたいとの住民の強い要望があります。これから10年間に高齢者が増加する一方で、リニア新幹線建設・濃飛横断道路建設・リニア駅前開発が始まり、トラックや車が増え、交通事故の増加が懸念されます。

多くの自治体ではタクシーを利用した足の確保を行っています。当市でもタクシーを利用した足の確保を実現し、住民の要望にこたえてはかがですか。

答

タクシーは、24時間ドアツードアで誰もが利用できる自由度の高い公共交通機関で、タクシーを活用した移動支援は有効と考えています。タクシーを活用した取り組みについて、他市の事例を参考に、現在調査研究しています。地域の特性、利用状況にあわせた形で、効率性、経費等考慮しながら取り組みを進めていきます。

(定住推進部長)



産業建設委員会先進都市行政視察報告

◆北海道小樽市

「外国人観光客誘致の取り組みと受け入れ態勢の整備について」 10月17日

【目的】

外国人観光客への対応について、参考になる項目を検証するため視察しました。

【概要】

観光に関する市場、外国人動態などを調査し、観光の経済効果を既存の商店街や飲食店に波及させる施策や、増加する外国人観光客へのおもてなしを展開しています。

【委員会のまとめ】

滞在時間の延長、周遊性の向上、宿泊客数を増大させるため、次の点を提言します。

- ・当市の観光に関する市場・動線・外国人動態の調査を実施し、経済効果を商店街や飲食店に波及させる方法が必要と考えます。
- ・（社）北海道観光振興機構が作成している「指さし会話」は大変よく、当市も参考にすることが必要です。

◆北海道富良野市

「環境・感動・癒しの大地ふらのをテーマとした観光戦略について」 10月18日

【目的】

当市の外国人観光客への対応の現状と課題について、参考になる項目を検証するため視察しました。

【概要】

外国人観光客への魅力向上策として、サイクルツーリズムや国際交流イベントなど体験型観光を推進しています。

【委員会のまとめ】

滞在時間の延長、周遊性の向上、宿泊客数を増大させるため次の点を提言します。

- ・当市には自然豊かな清流と森林が多く存在しており、魅力を盛り込んだ体験型観光商品を開発していくことが必要です。
- ・大切な自然を破壊されことなく、永続的に楽しめるための対応策を考えていくことが必要です。

◆北海道旭川市

「企業誘致と人材確保の取り組みについて」 10月19日

【目的】

企業誘致と労働者不足について、参考になる項目を検証するため視察しました。

【概要】

- ・企業誘致に不可欠な、スムーズで良好な交通アクセスを確保しています。
- ・格安で好立地な事業用地を提供しています。

【委員会のまとめ】

企業誘致のための環境を作ることが大切と考えます。次の点が非常に重要であることを学んできました。

- ・交通アクセスがスムーズで良好であること。
- ・地震・水害等の災害に強い地形であること。
- ・土地の価格が安く、補助金等が充実していること。
- ・大都市への売り込みを図ること。

文教民生委員会先進都市行政視察報告

◆新潟県見附市

「激甚災害後に講じた各種防災対策とその効果について」
10月24日

【目的】

当市の防災計画と比較し、参考とすべき事柄を検証するため視察しました。

【概要】

- ①平成16年の大規模水害後に防災対策を講じ、平成23年の集中豪雨でその効果を確認、更なる対策を進めています。
- ②新たに講じた防災対策の内容
 - ・災害対応手順を時系列に明確化、避難誘導方策強化で自助&地域と行政力の發揮を可能にする等のソフト対策
 - ・遊水地整備等のハード対策

【委員会のまとめ】

本対策は水害防災を意識しており、同被害を繰り返している世界の国々からも注目されています。当市は地震、土砂災害も想定され、本対策の詳細を参考に、当市の対策について、内容検証するよう提言します。

◆新潟県上越市

「特定健診と重症化予防のための保健指導事業について」
10月25日

【目的】

特定健診事後指導の充実による受診率向上の事業実態を確認するため視察しました。

【概要】

- ・生活習慣病予防により、医療費と介護給付費の削減を最優先にしています。
- ・市民・地域・関係機関に深刻な健康実態の周知を図り、改善を推進しています。
- ・受診率が向上、平成24～27年で男性48%（+43）、女性52.4%（+18）を実現しました。
- ・後期高齢者医療費の減少。平成28年は前年比約7億円の減少、市の持ち出しは約1億円の減少となりました。

【委員会のまとめ】

深刻な健康実態の改善課題整理から問題発見、解決策の策定の手順を進めるチームを連携ではなく役割分担としたところに特徴があり、当市にも参考になります。

◆新潟県妙高市

「認定こども園について」
10月26日

【目的】

当市の認定こども園開設に参考とすべき事柄を検証するため視察しました。

【概要】

- ・園児数減少と施設老朽化の2保育園、1幼稚園を、平成27年に統合しました。
- ・市民及び保護者には、丁寧な事前説明を実施しました。
- ・新たに開設する園は、既設の課題を踏まえて改善する計画です。
- ・幼稚園教諭の免許と保育士免許の両方を取得している職員が、事前に人事交流し、移行後の不安を解消しました。

【委員会のまとめ】

保育しやすく保護者が安心して預けることができる施設にするためには、保育士や保護者の声をしっかり反映した設計とすべきであり、当市でも実践する必要があります。



消防出初式 一斉放水



消防出初式 アトラクション



消防出初式 階梯操法



成人式 ～未来に向かって翔け～

平成30年 年始の一コマ



新年挨拶（岐阜県庁）

岡崎副議長、大堀議長、古田知事、青山市長

平成30年3月定例会の日程

2月26日(月)	10時 本会議(初日)
3月7日(水)	10時 一般質問
3月8日(木)	10時 一般質問
3月12日(月)	10時 産業建設委員会
3月13日(火)	10時 総務企画委員会
3月14日(水)	10時 文教民生委員会
3月15日(木)	10時 予算決算委員会
3月16日(金)	10時 予算決算委員会
3月19日(月)	10時 予算決算委員会
3月22日(木)	10時 予算決算委員会
3月28日(水)	10時 本会議(最終日)

議会開催状況 10月5日～12月22日

本会議	(4回)
総務企画委員会	(2回)
文教民生委員会	(3回)
産業建設委員会	(2回)
予算決算委員会	(2回)
議会運営委員会	(5回)
リニア中央新幹線 対策特別委員会	(1回)
議員連絡協議会	(1回)

編集後記

▼今議会の一般質問では、

①会派や常任委員会です先進地視察で学んだことを生かした質問が4人からあったこと。

②総合計画や介護保険事業計画などの進捗状況や課題、今後の計画についての質問が4人からあったこと。

③最近の質問方式は一問一答でしたが、今回は、一括質問方式を取り入れた議員が2人あったことが特徴的でした。

▼新衛生センター建設の入札(2社)は、初めて総合評価方式で行われました。

価格だけでなく、機械や技術面の評価が必要との考えで進められたとのことでした。

▼12月議会では当市特産のシクラメンを議場に飾ってPRしました。

